

今月のKYT（危険予知トレーニング）

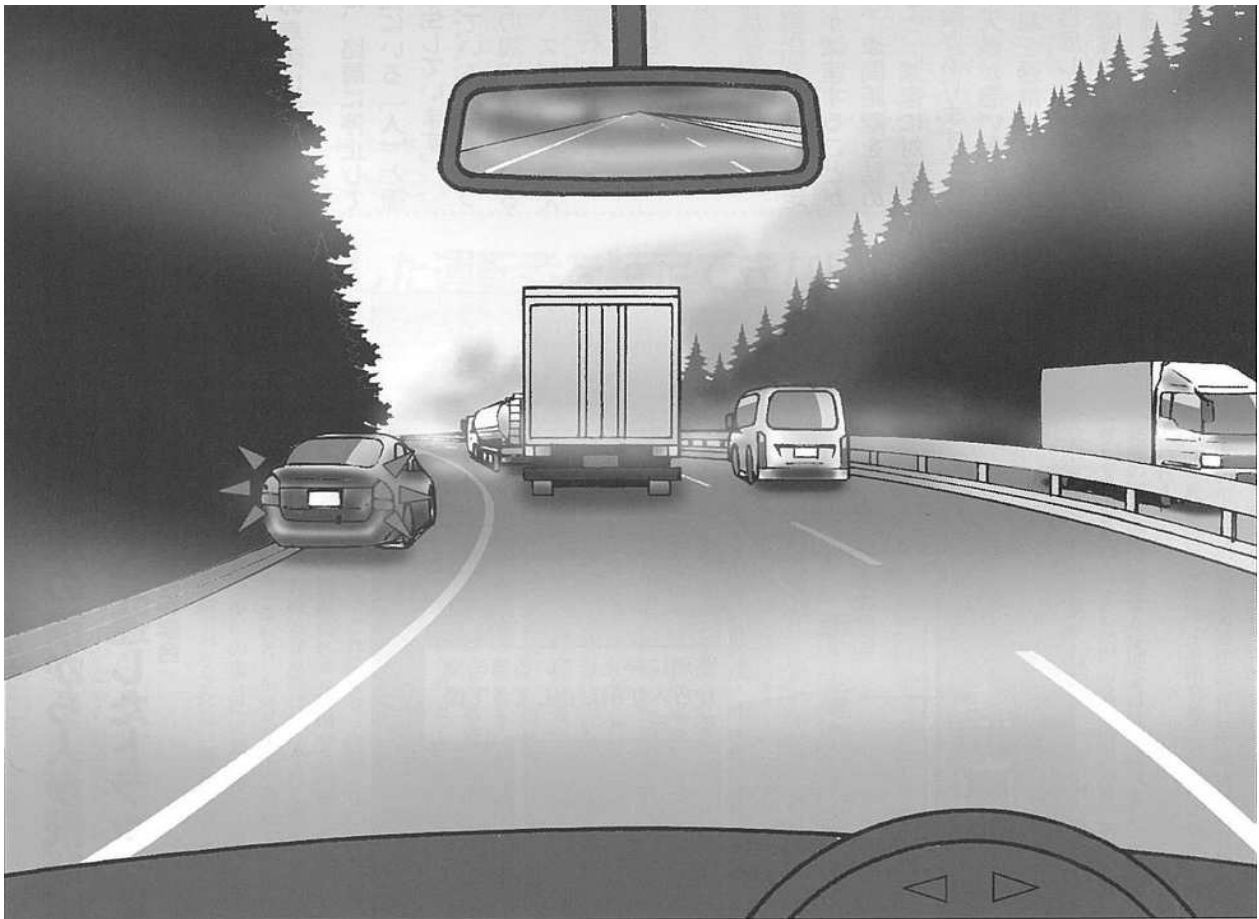
◆ 霧深い山間部の高速道路を走行しています。

- 前方左側の路肩には乗用車が停止しています。
- 自車は、このまま進んで行きたいのですが・・・。

【解説は次ページ】

下記のKYTトレーニングを実施し、自己の危険予知能力を高めましょう！

Q どんな危険が 潜んでいますか？



◎ 予想される危険を記入して下さい。

氏名

1

2

3

知ト
 予イ
 険イ
 危ポ

- ① 路肩に停止している車の横から人が飛び出してきたり衝突する。
- ② 霧による視界の悪化で減速したトラックに追突する。

路肩に停止中の車両に注意する

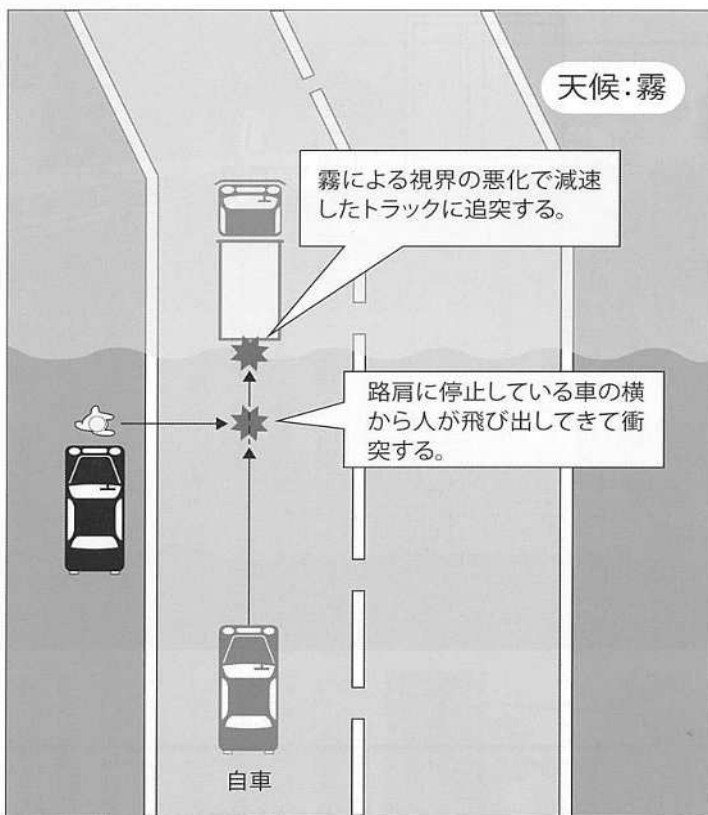
高速道路では、路肩に停止している車両の周囲にいる「人」と衝突する事故が発生しています。

路肩に停止している車両を見つけたときは、その周辺に人がいることを予測して、スピードを控えるなど注意して走行しましょう。

前方を走行するトラックに注意する

秋は霧の発生が多くなります。霧による視界の悪化から、前を走行するトラックが減速することが考えられるため、車間距離を詰めて走行していると、減速に対応できず衝突する危険があります。

雨や霧など、天候が悪いときは、前車との車間距離を通常よりも大きくとることを徹底しましょう。また、視界を確保し、自車の存在をアピールするためライト（フォグランプ）を点灯しましょう。



視界が悪いときは、車間距離をいつもより大きくとろう

KYT(危険予知訓練)は、交通場面を見て、どこに、どういう危険があるかを想像することで、危険を予測する訓練法です。

日々KYTを行い、危険感受度を高めて危険回避に役立てましょう。

※ 毎月配信しています。有効に活用し事故防止にお役立てください。